

2. 地下水の水質

(1) 水質の監視状況

- ・地下水の水質については、県内約200地点を3～5ヶ年を1サイクルとして順次測定している。平成27年度は、18市町村の計42地点で年1回の概況調査を実施した。
- ・過去の調査で環境基準を超過した6地点において、継続監視調査を行った。
- ・調査の実施主体は、奈良県及び奈良市である。

(2) 水質の状況

【概況調査（42地点）について】

- ・4地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準を超えて検出された。

【継続監視調査（6地点）について】

- ・1地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が、1地点でひ素が環境基準を超えて検出された。

【環境基準超過井戸への対応について】

- ・環境基準を超過した井戸の所有者には井戸水の使用指導を行った。また、新たに環境基準を超過した井戸については、再調査や周辺調査を実施した。再調査や周辺調査では、環境基準の超過はなかった。
- ・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の超過原因については、し尿由来、農業由来、畜産由来等の可能性が考えられるため、関係部局に情報提供するなど連携を図っている。
- ・今後の対応として、基準値を超過した井戸については継続して水質監視を行う。

< 環境基準超過井戸 >

概況調査	環境基準超過項目	検出値	環境基準値
天理市備前町	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	11 mg/l	10 mg/l
桜井市穴師	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	21 mg/l	10 mg/l
桜井市金屋	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	11 mg/l	10 mg/l
平群町福貴畑	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	14 mg/l	10 mg/l
継続監視井戸	環境基準超過項目	検出値	環境基準値
天理市中山町	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	12 mg/l	10 mg/l
河合町大輪田	ひ素	0.011 mg/l	0.01 mg/l

地下水調査結果総括表

項目名	概況 調査数	検出 数	うち		継続 監視 調査数	検出 数	うち		最大 検出濃度	環境基準値
			基準値 超過数				基準値 超過数			
環境基準健康項目	カドミウム	42	2	0					0.0004	0.003
	全シアン	42	0	0					<0.1	ND
	鉛	42	2	0	3	2	0		0.002	0.01
	六価クロム	42	1	0					0.01	0.05
	ひ素	42	5	0	1	1	1		0.011	0.01
	総水銀	42	0	0					<0.0005	0.0005
	PCB	42	0	0					<0.0005	ND
	アルキル水銀	0	0	0					-	ND
	ジクロロメタン	42	0	0					<0.0002	0.02
	四塩化炭素	42	0	0					<0.0002	0.002
	塩化ビニルモノマー	42	0	0					<0.0002	0.002
	1,2-ジクロロエタン	42	0	0					<0.0002	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	42	1	0					0.0004	0.1
	1,2-ジクロロエチレン	42	2	0					0.0057	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	42	0	0					<0.0002	1.0
	1,1,2-トリクロロエタン	42	0	0					<0.0002	0.006
	トリクロロエチレン	42	2	0					0.0013	0.01
	テトラクロロエチレン	42	0	0					<0.0002	0.01
	1,3-ジクロロプロペン	42	0	0					<0.0004	0.002
	チウラム	42	0	0					<0.001	0.006
シマジン	42	0	0					<0.0003	0.003	
チオベンカルブ	42	0	0					<0.002	0.02	
ベンゼン	42	1	0					0.0002	0.01	
セレン	42	0	0					<0.002	0.01	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	42	39	4	1	1	1		21	10	
ふっ素	42	20	0					0.3	0.8	
ほう素	42	32	0	1	1	0		0.33	1.0	
1,4-ジオキサン	42	0	0					<0.005	0.05	

(注)・環境基準値及び最大検出濃度 単位：mg/l、ND：不検出
 例：<0.1→検出下限値0.1未満であったことを示す。
 ・アルキル水銀は総水銀が検出された場合にのみ測定。